

早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー

主催：早稲田大学各務記念材料技術研究所

協賛：応用物理学会・軽金属学会・日本機械学会・日本金属学会・日本材料学会・日本鉄鋼協会・日本真空協会・
日本表面科学会・日本分析化学会・表面技術協会・粉体粉末冶金協会・炭素材料学会・早稲田材料工学会・
早稲田大学機友会・早稲田物理会（順不同）

テーマ「先端技術開発の最前線」

新材料開発はすべての科学技術の地盤として、性能や機能を大きく左右するキーテクノロジーである。また新材料開発のためは、物質・材料のキャラクタリゼーション（解析、分析 評価）の手法開発も必要不可欠である。評価装置や分析装置の精度・感度・分解能を向上させ、他にさきがけて、より詳細な情報を獲得することは、材料開発・素子開発の最大の武器となる言うまでもありません。

この視点に立脚し、装置開発に関する国家研究プロジェクトが新しく遂行され、次々に目覚ましい成果を挙げています。この現状を多くの方に広く知っていただくために、2010年度の早稲田大学各務記念材料技術研究所のオープンセミナーのテーマとして、“先端技術開発の最前線”を採り上げました。装置開発・評価要素技術の開発プロジェクトの最前線で、指揮を執り、最近、性能の向上に実績をあげた方々を講師としてお招きし、進展した装置性能を参加者に認識していただき、わが国の今後の材料開発の行くべき道を探ることを意図しました。このセミナーが参加者と講師諸氏との有意義な情報交換、意見交換の機会となれば幸いです。

1. 日時：2010年10月29日（金）10：00～17：00
2. 会場：早稲田大学西早稲田キャンパス（旧・大久保キャンパス）63号館03会議室
（東京都新宿区大久保3-4-1）
3. プログラム：

時間	講演題目等	講師等
10:00～10:05	挨拶	●●●●●（各務記念材料技術研究所長）
10:05～10:10	開会挨拶	大島 忠平（運営委員長）
10:15～11:15	0.5 A超分解電子顕微鏡（仮題）	高柳 邦夫（東京工業大学 大学院理工学研究科教授）
11:20～12:20	レーザーアトムプローブによる3次元元素解析	宝野 和博（独立行政法人 物質・材料研究機構 磁性材料センター長）
12:20～13:30	昼食	
13:30～14:30	スピン分解低速電子反射顕微鏡（仮題）	越川 孝範（大阪電気通信大学工学部教授）
14:35～15:35	超高分解質量分析計（仮題）	塚本 尚義（北海道大学大学院理学研究院教授）
15:35～15:50	休憩	
15:50～16:50	光の和周波発生顕微鏡法による固体表面や生物体の 観察	水谷 五郎（北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科教授）
16:50～16:55	閉会挨拶	大島 忠平（運営委員長）

4. 参加費（資料代含む）：無料
5. 定員：100名（定員になり次第締め切らせていただきます）
6. 申込み手続き：ファックスまたはE-mail(zaikenjimu@list.waseda.jp)で本誌裏面の要領にてお申し込みください。共催・協賛団体の会員の方は必ず所属団体名をご記入ください。
7. 申込み先：早稲田大学材料技術研究所 オープンセミナー係
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-8-26 Tel:03-3203-4782 Fax:03-3205-1353
URL <http://www.waseda.jp/zaiken/index.html>
8. 申込み締切日：10月22日（金）